



19大建第230号  
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 殿

大洲市長 大森隆雄



## 中期的な計画の作成にあたり

### 「重点化を進める上で特に優先度の高い政策」

VI 高速ネットワークの効率的活用・機能強化

II 地域の自立と競争力強化

III 安心・安全の確保

- 四国高速8の字ネットワーク道路網の早期整備
- 瀬戸大橋通行料金の一般高速道路料金化・有料道路の地方通行割引制度の新設
- 公共施設等を連絡する道路整備の確保
- 地震時の四国・県・市の道路ネットワークの信頼性の高い道路確保
- 中山間地域における安全対策確保

・・・以下、説明・・・

○税収に繋がる企業が少なく新たな企業誘致も望めない財源の乏しい地方にとって、活力あるまちづくりには観光もひとつの財源である。しかし、その観光を誘致するにも瀬戸大橋通行料金は高く、高速道路は途中までしか整備されておらず、一般の観光客を気軽に呼び込める条件が整備されていない。そのため、目的地のルートを逆に帰る観光工程しか組めなく、地方にとって唯一の魅力に溢れた多くの自然を生かすにも、交通の不便がそれを妨げている。現在の旅行形態は、マイカーやレンタカーを利用した少人数（5～6人）のグループ・家族旅行が中心となっており、ホテル&レンタカーをバックとした航空券も主流になりつつある。

このところ、大洲市・南予・愛媛というような限られた地域限定の観光誘致は限界があり、今後は広域的なルート構想が必要となっている。そのため、高知県と愛媛県を結ぶ四国高速8の字ネットワークの交通体系により、四国巡礼「お遍路の道」観光等もたやすくなり、また素晴らしい自然の宝庫でありながら交通の不便により発展を阻まれてきた南予地方に観光客を呼び、今までに無い魅力を提供できる。

- 「有料道路の地方通行割引」制度があれば、魅力的な自然が残る僻地観光への強力な牽引力となる。他の高速道路に接続されてなく周回することができない1方向高速道路に、往復券を購入すれば2～3割程度の割引制度を新設。

又、瀬戸大橋通行料金は一般者からすれば高い設定で大きな障害となっていることから一般高速道路と同等の料金になれば四国への企業誘致・観光誘致に大きな影響を与えることになり、本当の意味での本州と四国が「陸つづき」になることができる。このため、道路特定財源を瀬戸大橋通行料金に充当していただき、引き下げを行う等の措置をとっていただきたい。

- 過疎化が進む地方及び中山間地域では、生活の基礎となる医療、福祉、教育等の面で十分なサービスを受けられない事態が発生しているが、既存の行政区域内にすべての公共施設を整備することは今の財政上不可能である。そのため他の行政区との連携を強化・相互補完することが必要であり、公共施設等へのアクセス道路の整備が不可欠となってくる。整備にあたっては、交通量に応じた1.5車線化等による地域実情に合った早期整備を実現する。

- 更に南海地震等に対して、救援物資等の輸送のための、緊急輸送道路の確保が重要な課題となっている。

「橋梁の耐震補強対策は講じられているがそれ以外の構造物はどうなのか？」

構造物の点検・補修・管理はもちろんのこと、さらに地震に対応出来る安全対策が必要であり、地方に居住する地域住民が孤立することのないよう重要な役割を担う幹線道路は当然のこと、四国・県・市全体の道路ネットワークの安全・安心出来る信頼性の高い道路確保が必要である。

- 中山間地の道路は、急斜面を切り開いた急勾配切土法面と「能登半島地震」で崩壊が発生したような谷地形に盛土した道路が多く存在する。一度、崩落・崩壊が発生すれば迂回路確保が困難であることから、復旧が長期にわたり孤立する恐れがあり地域住民にとっては最大の不安と脅威になっている。このように、危険性が高く通勤事情の悪いことが過疎化、高齢化に拍車をかけているため、「より安全で安心できるまちづくり」を促進するためには、生活生命線の整備は極めて重要であると痛感している。

- ※ なお、道路を整備すれば交通渋滞が解消され排気ガスが減少、自動車の影響による温暖化は緩和されるのではないかと考えます。